

第4章 環境保全に向けての参加の推進

第1節 環境保全思想の普及・啓発

1. 環境教育

(1) 環境教育のねらい

学校においては、環境教育を、生涯学習の基礎を培う機会として位置づけ、児童生徒の環境問題への関心を高めるとともに、人間と環境のかかわり方や環境に対する人間の責任・役割について理解させ、環境の保全やよりよい環境の創造に向けて主体的に行動できる能力や態度を育成することが大切である。

そのためには、以下のことが求められる。

- ①教育課程への適切な位置づけと、年間指導計画に基づいた指導
- ②全教職員の共通理解の促進と推進体制の確立
- ③地域の自然等を生かした活動の工夫

(2) 「環境教育講座」の実施

教育センターの研修講座で、幼・小・中・高等学校の教員を対象に実施。幼稚園・小学校と中学校・高等学校の隔年開催。

ア 目的 講義や実験・実習等を通して、環境教育について認識を深めるとともに、指導力の向上を図る。

イ 期間 2日間

ウ 研修内容（平成15年度中・高等学校環境教育講座）

- 講義1・演習「環境教育について」
- 見学1 「松江市環境センターの廃油精製プラント」
- 講義2 「斐伊川くらすの活動」
- 研究協議 「環境活動について」
- 講義3 「中国電力の出前授業事例と環境エネルギー授業プラン事例」
- 講義4 「島根における次世代層エネルギー教室事例」
- 見学2 「島根原子力発電所の説明・案内」
- 実験・実習 「身近な環境測定実験・観察」

(3) 環境教育の実践例

①小中学校の取組－平成15年度環境学習モデル事業による実践研究－

環境学習の実践研究を通して、児童生徒の問題解決能力、創造的活動能力、社会性をはぐくむ能力を高め、環境保全への意識や実践力を育てるために県内小学校15校、中学校5校を環境学習モデル校に指定し、研究実践を行った。各学校は次のような概要で実践研究に取り組んだ。

○安来市立飯梨小学校

飯梨川の環境を考える活動を通して、自分を見つめ、まわりを見つめ、よりよい生き方をみつける子どもの育成をめざしている。

○島根町立大芦小学校

教科、総合的な学習の時間等の中で「ふるさと大芦活性化プラン」を立て、地域に学び豊か

に生きる力を育む「大芦っ子タイム」を展開している。

○美保関町立美保関東小学校

教科や児童会活動などでリサイクル活動等を展開し、自ら学び、生き生きと表現する子どもの育成をめざしている。

○安来市立伯太中学校

伯太川の環境に関する課題を設定し、その解決に向けての活動を通して、ふるさと伯太町を愛する生徒の育成をめざしている。

○仁多町立三沢小学校

要害山での自然観察会やネイチャーゲーム、ビオトープでの生物観察などを通じて、人・もの・自然と共に生きようとする子どもの育成をめざしている。

○平田市立鱒淵小学校

総合的な学習の時間との有機的な関連を図りながら基盤を培う教科学習に力を入れ、心豊かに意欲的に学ぶ子どもの育成をめざしている。

○横田町立馬木小学校

ふるさと学習を中心とした馬木っ子タイムや生活科のあり方を検討しながら、自然・人・ものと主体的にかかわり合う馬木っ子の育成をめざしている。

○出雲市立第二中学校

神戸川・高瀬川を教材とした水質調査、住民と生活、歴史等についての環境学習を展開し、環境の問題に関心を持つ生徒の育成をめざしている。

○浜田市立長浜小学校

「地球と共に生きよう」をテーマに、総合的な学習の時間を中心として、地域環境を生かし、水環境の保全活動、ゴミの減量化やリサイクル活動等の学習を進めている。

○温泉津町立温泉津小学校

浜田川での体験活動、調査活動、美化活動を通して、主体的に活動し人との関わりを通じて学ぶ環境学習のあり方を追求している。

○金城町立小国小学校

全校共通体験「マイリバー小国川」等の活動を通して、一人ひとりの課題解決学習を展開し、自分のよさを発揮し、主体的に学び実践する子供の育成をめざしている。

○大田市立志学中学校

森林と暮らしの関わりを考える総合的な学習の時間を展開し、環境について多様な観点から継続的に把握し、具体的に実践できる態度の育成をめざしている。

○益田市立西益田小学校

「みんなの手による町づくり、守りたいふるさと西益田の環境宣言」をキャッチフレーズに、互いの心とからだ・そして地球を大切にする児童の育成をめざしている。

○益田市立桂平小学校

メダカの生態調査、ケナフの栽培とケナフを使った活動、愛鳥モデル校としての活動等を通して、地球の環境に根ざした総合的な時間・生活科を追及している。

○六日市町立蔵木小学校

「地域のお年寄りこそ環境教育のよき指導者」を合言葉に、栽培活動や空き缶回収活動などを展開し、郷土を大切にしようとする子どもの育成をめざしている。

○益田市立横田中学校

水中生物調査、植物の分布調査、河川清掃、再資源回収などの活動を通して環境学習を展開し、新しい時代に夢を持ち、たくましく生き抜く生徒の育成をめざしている。

○隠岐の島町立有木小学校

有木川水質・生態調査、ボランティア奉仕体験活動等を展開し、「ひと・もの・こと」との出会いを通して、身近な環境問題に触れ、考えることのできる児童の育成をめざしている。

○隠岐の島町立都万小学校

総合的な学習の時間を中心とした体験活動（稲作、畑作、村内空き缶拾い）を通して、ふるさと都万をよく知り、都万が大好きな児童の育成をめざしている。

○隠岐の島町立那久小学校

総合的な学習の時間を中心として、那久川の水質調査、海岸の漂流物調査、米作りなどを展開し、進んでふるさとを知り、愛する那久っ子の育成をめざしている。

○隠岐の島町立中村中学校

教科、特別活動、総合的な学習の時間等における様々な体験を通して、身近な環境を知り、自分でできる環境保全について考え、地域で実践できる生徒の育成をめざしている。

②高等学校の取組

○部活動を通じた環境教育：島根県立大東高等学校自然科学部

大東高校の自然科学部では、島根県レッドデータブックで準絶滅危惧種とされているニセマガソコガネの生息分布域について研究し、同種を保護するための参考にしたいと考えている。この研究は16年度の高文連自然科学部門でも環境学習参考事例として発表が行われ、分布域を中心とした周囲の植生も含めた環境維持が重要であるとしている。

2. こどもエコクラブ事業

こどもエコクラブ事業は、次世代を担う子どもたちが、地域の中で仲間と一緒に主体的に地域環境、地球環境に関する学習や具体的な環境保全活動を展開できるように支援することを目的として、環境省の委託を受けた（財）日本環境協会が実施している。

平成15年度は、県内で56のこどもエコクラブが結成され、川の水質調査、生物調査、ケナフ栽培など様々な活動を行っている。県は活動推進のため、各クラブ間の交流会を8月と2月の2回開催するとともに、サポーターの育成・交流を目的に研修会を実施した。また、他クラブの活動状況等の情報を提供するため県版ニューズレターを3回発行した。更に、活動の一層の活性化を図るため、一定基準以上の活動を行ったクラブを認定し、記念品を贈呈する「しまねこどもエコクラブ認定制度」を実施し、17クラブを認定した。

表 4-1-1 こどもエコクラブの登録状況

	登録クラブ	メンバー／サポーター(人)	市町村
平成 7 年度	37	84 / -	10
平成 8 年度	56	811 / -	23
平成 9 年度	44	621 / -	18
平成 10 年度	54	735 / 106	25
平成 11 年度	54	609 / 145	19
平成 12 年度	41	643 / 147	18
平成 13 年度	36	745 / 151	16
平成 14 年度	38	1,165 / 211	17
平成 15 年度	56	1,168 / 198	16
累計	360	6,581 / 958	-

3. 環境学習プログラムの作成

学校、地域における環境学習の指導に資することを目的に、県と島根大学と共同でワークシートを中心とする実践プログラムである「21世紀を生きるきみたちの環境学習（環境学習プログラム 幼児～小学校低学年編）」を作成した。

県内の小学校や幼稚園、図書館などに配布するとともに、県のホームページに掲載し、実際の学習の場における活用を図った。

第2節 各主体の環境保全活動の推進

1. 普及啓発事業

(1) 環境月間行事

平成6年度から環境月間を6月に改め、6月5日の環境の日を中心として、各種の事業を実施している。

平成15年度は、「はじめています。地球にやさしい新生活」をテーマに行事・取組みを行った。

①環境保全功労者の表彰

環境保全に関し、特に顕著な功績のあった方に対して知事感謝状を贈呈した。

②県民一斉ノーマイカーデー

6月1日と20日を「県民一斉ノーマイカーデー」とし、県内の市町村、企業、団体等に対し自動車利用の自粛を呼びかけた。

③「クリーンしまね—環境美化行動の日」

実践活動を通じて環境美化意識や資源を大切にす意識の普及啓発を図るため、環境美化行動の日を設定し、広く一般参加を得て清掃活動、空き缶の分別収集とリサイクル等を行った。

期日：6月1日（日）

提唱：島根県

内容：市町村、各種団体等により公園、緑地、河川等の清掃や空き缶の分別収集

④実施状況

県内における環境月間に係る行事の実施状況は表4-2-1のとおりである。

表4-2-1 環境月間行事実施状況

区分	行事の内容	実施回数
記念植樹	環境月間を記念した植樹	19
各種会合等	講演会、研修会、講習会、自然観察会等	6
表彰	環境保全功労者、環境美化功労者等	1
展覧会等	環境展等	1
施設公開	公害関係試験研究機関、下水道処理場等の公開	1
環境美化運動	清掃、空き缶拾い、植樹等	26
その他	ノーカー運動、チラシ・ステッカーの配布、放魚等	3

(2) 環境保全普及啓発の広報

今日の多様化した環境問題を解決していくためには、県民、事業者及び各種団体等の自主的かつ積極的な活動が不可欠となっています。

そこで、すべての県民が環境に配慮した行動がとれるように、県の環境施策や各種月間等の環境情報について、最も効果的な伝達媒体であるマスメディアを活用し広報・啓発を図っています。

なお、地球温暖化対策に関する広報については、補助事業を活用し中国・四国8県1市で共同事業を実施した。

- ・新聞広報 16件…… 環境月間、しまね景観賞等
- ・テレビスポット放送 2件…… しまねエコショップ、環境にやさしい買い物キャンペーン
- ・ラジオスポット放送 2件…… エコドライブ運動推進、P R T R法周知

2. 研修会の開催

市町村及び健康福祉センター等において、環境行政を担当する職員を対象として、環境行政の現状及び実務について研修し、業務の円滑な遂行に資することを目的として、「市町村及び健康福祉センター環境・廃棄物担当者研修」を実施している。

平成15年度の実施状況は、表4-2-2のとおりである。

対象者

- ・市町村の環境・廃棄物行政担当者
- ・健康福祉センターの環境・廃棄物行政担当者

表4-2-2 市町村及び健康福祉センター環境・廃棄物担当者研修 (平成15年度)

月日	科目	講師	受講者
平成15年 11月11 ～12日	1. 「土壌汚染対策法について」	島根県環境生活部環境政策課 主任 嘉藤健二	市町村 人
	2. 「島根県におけるISO14001の認証取得について」	島根県環境生活部廃棄物対策課 主査 和田謙一	一部事務 組合 人
	3. 「島根県地球温暖化防止活動推進員制度について」	島根県環境生活部環境政策課 主幹 梅 伸夫	県健康福祉 センター 人
	4. 「こどもエコクラブ事業について」	島根県環境生活部環境政策課 主任主事 石田 強	人
	5. 視察研修 「クリーンパークいずも」		

3. 環境マネジメントシステムの普及・啓発

「企業が環境に関する方針や目標等を自ら設定し、これらの達成に向けて自主的に取り組むこと」といった内容を指す「環境管理」について、国際的な統一規格としてISO14000シリーズ環境管理システムに関する一部が平成8年9月に規格化された。

平成16年3月31日現在で、県内の59事業所及び本県を含め4自治体がISO14001の認証を取得している。

簡易版も含めて環境マネジメントシステムは、今日の環境問題解決への有効な手法であるので、事業者の認証取得への情報提供を図っている。

4. 環境白書の発行

本県の環境の状況や環境の保全に関する施策の実施状況等を取りまとめ、「環境白書」として作成し、各市町村、公立図書館、中学校・高等学校や関係機関等へ配布するとともに県のホームページに掲載し、県民や事業者への公表に努めた。

第3節 参加と連携による地域環境づくりの促進

〔(財)島根ふれあい環境財団21〕

平成15年度主要事業実績(環境保全活動支援事業分)

1. 交流・連携事業

(1) 環境フェアの開催

「環境フェスティバル in 益田」の開催

地球温暖化や循環型社会の形成など、県民一人ひとりが理解し行動することが必要であるため、より多くの方に楽しみながら実践できる普及・啓発の機会として開催。

- ・日 時 平成16年3月6日
- ・場 所 益田市(石川県民文化会館及び周辺)
- ・実施方法 環境フェスティバル in 益田実行委員会を組織し実施
- ・テ ー マ 「もっともっと、地球を愛そう」～地球温暖化防止と循環型社会をめざして～
- ・参加者 約4,500名
- ・概 要 グラントワプレイベントでもある、ミュージカル「あいと地球と競売人」との共同企画や、島根大学、益田市及び美濃・鹿足郡各町村、地元ボランティア団体、協賛企業の出展等、多彩な内容で実施。また、プレ企画として「マイバッグキャンペーン」を管内エコショップの協力により2月1日～3月5日の間実施。

2. 情報収集・提供事業

(1) 環境情報収集・整理・提供

環境関連情報を収集・整理し、県民に分かりやすく提供した。

①新聞・雑誌・図書類の購読・購入

新聞記事の収集整理、関係図書・雑誌の新規購入を行った。

②「海はともだち」「海の博物学」「島根県漂着物図鑑」等の配布

③ホームページでの情報提供

各種情報案内を提供する情報ボックスや各事業に関連するサイトで情報を提供。

(2) 機関誌の発行

機関誌・ふれあい環境ニュース「びいびいっと」の発行

第 8号(夏号) 6月20日 第 9号(秋号) 9月16日

第10号(冬号) 12月15日 第11号(春号) 16年 3月22日

配付部数:(固定)約1万7千部。イベント等での配布1千～2千部。

※財団ホームページにも掲載。

3. 活動支援・助成事業

(1) 環境保全活動支援助成事業

助成件数 125件

助成額 49,290千円

(2) 活動資金助成事業(地域環境会議助成制度調整業務委託費)

松江・雲南・出雲・「大田・仁摩・邑智」・浜田・益田・隠岐の7地域環境会議に助成金の申請相談、指導助言、申請書の受付、書類の点検、精算報告書等の審査等の業務を委託した。

(3) 環境学習資機材の提供

省エネルギーの実践活動の普及・啓発の一環として、家庭の消費電力が測定できる省エネナビやワットアワーメーターの貸出しや、エコグッズの購入・配付を行った。

(4) 講師・指導員派遣事業

県民や事業者が実施する研修会等に環境アドバイザーを派遣。

平成15年度派遣件数 7件

4. 普及・啓発事業

(1) しまね環境大賞の表彰

その年において他の模範となるような環境保全活動や環境技術開発に取り組んでいる個人、団体、事業者に対し、その活動を賞し、奨励するもので、今回が4回目。

この賞は、環境保全活動部門（個人・団体）と調査研究・技術開発部門（事業者）の2部門があり、今回は合計12点の応募があった。

1月28日に行われた選考委員会でそれぞれ次のとおり大賞と奨励賞が選ばれ、3月6日（土）益田市で開催された「環境フェスティバル in 益田」において表彰を行った。

○大賞

部門	受賞者名	活動名	活動内容と評価
環境 保全 活動	Let's里再来実行委員会 (益田市)	Let's里再来in2002 (環境保全活動「Let's里再来」)	益田青年会議所と高校生ボランティア及びボランティア団体で実行委員会を組織し、海岸清掃やリサイクルフェアなど1000人以上の市民の参加による美化活動や普及・啓発活動が定着している。
調査 研究 ・ 技術 開発	(株)研電社	汚泥水処理システムの開発	汚泥水処理のために新開発した、他に例のない固液分離装置と超高性能粉末凝集剤の併用により、低コスト、コンパクト化に成功し、既に実用化されている。用途も事業所の廃水処理など広範囲で応用が期待されている。

○奨励賞

部門	受賞者名・活動名
環境保全 活動	・横田町立馬木小学校 「自然・人・ものと主体的にかかわり合う心豊かでたくましい馬木の子の育成」 ・大田市立志学中学校 「どんぐりの森づくり活動」
調査研究 ・技術開発	・(有)日野採石 「有用微生物含浸多孔石による水質浄化技術」

○特別賞

部門	受賞者名・活動名
環境保全 活動	・赤川ほたる保存会 「ほたる舞う里づくり」
調査研究 ・技術開発	・山陰興業(株) 「再生燃料の製造販売」

(2) 花いっぱい緑いっぱい運動の推進

県内各地の街、道路、公園、職場、学校では、同じ地域の人たちや、働く人たち又は生徒と先生がそれぞれ協力して花や緑を育てることにより、美しい環境づくりや思いやりとふれあいのある地域づくり、人づくり活動が継続して行われている。こうした個人、団体の活動を一層拡大、発展させ、全県的な運動に展開するため、『花と緑』を通したうおいとふれあいのある地域づくり活動を表彰した。

①第14回島根県花と緑のまちづくり賞の表彰等

○応募件数 花の部148件（地域職場・41、学校・21、個人・86）

緑の部 1件（地域・1、個人・0）

市町村審査を経て推薦された「花の部」18件・緑の部1件について審査会を行い、各賞を決

定し、各部の優秀団体・個人を全国花いっぱいコンクールへ推薦した。

- 【花の部】「まちづくり大賞」を斐川町立斐川東中学校が受賞した外、〔地域・職場の部〕と〔学校の部〕で11団体、〔個人〕で2人が優秀賞等を受賞した。
- 【緑の部】「奨励賞」をちどりサロン会（東出雲町）が受賞した。

②第14回島根県花と緑のまちづくり推進大会の開催

花と緑のまちづくり賞の表彰、大賞受賞団体の活動発表及び花づくりに関する講習会、参加者への苗木・球根の無料配布を行った。

- ・日 時 平成15年10月25日(土)
- ・場 所 ビッグハート出雲
- ・協 力 同推進大会実行委員会
- ・参加者 約300名

③花と緑の講習会の開催

花づくりのレベル向上を図るとともに地域に密着した花づくりを進めるため、実技指導を含めた花づくりの講習を行った。

- ・月 日 平成15年9月27日(土)
- ・場 所 邑智町山村開発センター
- ・講 師 柿田 義文氏(樹木医)
- ・協 力 邑智町花と緑の銀行
- ・参加者 約50名

④花の種の配付

県内で花づくりの活動を行っている団体・個人で希望する方に花の種を配付し、花いっぱい運動推進の一助とした。

(3)こどもエコクラブの推進

①ニュースレターの発行。

クラブ員及びサポーターへの情報提供として、壁新聞形式のニュースレターを年3回発行。

②新聞広告欄による普及・啓発。(クラブの活動紹介や環境クイズなど)年7回実施。

③普及・啓発グッズの作成及び配布(統一キャラクター「えこまるくん」のバンダナ)

④島根こどもエコクラブ制度の運営

島根県独自のエコクラブ支援制度として、エコパスポートを各クラブサポーターへ配布し、活動報告を記載、返送することにより認定証及び記念品を授与。

5. 調査・研究事業

環境に関する調査・研究

環境フェスティバルに併せて、マイバッグ持参率調査及びレジ袋削減についての調査を行った。

実施期間：平成16年2月1日～3月5日 実施店舗：益田圏域エコショップ47店舗

レジ袋削減：期間中約12万5千枚 ゴミ換算：約1.2t

マイバッグ持参率：42.3% (期間中の4日間の各1時間8店舗を抽出し調査した平均値)

6. 地球温暖化対策事業 (島根県地球温暖化防止活動推進センター事業)

(1)子供向け普及・啓発

小学校高学年を対象として、学校生活および家庭生活において実践できるような取組事例や各種情報を掲載した地球温暖化対策啓発冊子とその指導者用マニュアルを無料配布中(松江市の全小学校で採用)。また、温暖化クイズや家庭生活に伴うCO₂排出量が簡単に算定できる計算ソフトをホームページで公開中。

(2)広告看板の設置

地球温暖化防止と推進センターのPRを兼ねてバス10台に広告看板を設置。

(3)地球温暖化防止研修会の開催

島根県が委嘱する「島根県地球温暖化防止活動推進員」(60名)に対して、全体研修及と各地域研修を実施。今年度から環境省の石油特別会計委託事業として実施した。

○全体研修

全推進員を対象に県外視察研修を行った。

【実施日】 平成15年12月13～14日

【視察先】 1日目 ATCグリーンプラザ（大阪）

2日目 京エコロジーセンター（京都）

○地域研修

県下7地区において11月～2月にかけて地域ごとに少人数で実施。講師を県庁環境政策課及び島根大学、島根県立大学から招いて、最新の情報提供、普及啓発方法の研修や、各自の取り組み報告、意見交換等を行った。

【実施場所】 西郷町、松江市、木次町、出雲市、大田市、浜田市、益田市

(3)地球温暖化防止活動推進員への情報提供

推進員への情報提供や情報交換を行うために、月1回の割合で情報誌（A4、4ページ）を発行。12月に第1号を創刊。